

# 地域包括ケアシステム 推進制度が始まりました！



日本理学療法士協会では、『地域包括ケアシステム』を推進するにあたって、「地域ケア会議」、「介護予防」の2つの施策に重点を置き、地域ケア会議が法定化される平成27年度を目安とし、地域包括ケアシステムに関わることのできる人材の育成を始めていきます。

そのための育成制度として、【地域包括ケア推進リーダー】  
【介護予防推進リーダー】の2つの認証コースを設定しました。

## そもそも、『地域包括ケアシステム』って何？ それって病院で働く理学療法士が関わるものなの？

現在、日本は、諸外国に例をみないスピードで高齢化が進行しています。

65歳以上の人口が、現在3,000万人を超え（国民の約4人に1人）、2042年にピークを迎え、その後も、75歳以上の人口割合は増加し続けることが予想されています。このような状況の中、団塊の世代（約800万人）が75歳以上となる2025年（平成37年）以降は、国民の医療や介護の需要が、さらに増加することが見込まれています。

そこで国は、『地域包括ケアシステム』の構築を実現することによって、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的にできるまちづくりを実現し、重度な要介護状態となっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続ける姿を目指しています。

『地域包括ケアシステム』とは、「自助」「互助」「共助」そして「公助」の理念に基づき、5つの要素から構成されています。その構成要素のうち、リハビリテーションは、意図的に真ん中に位置づけられました。

（5つの要素とは「医療・介護連携」、「認知症対策」、「地域ケア会議」、「生活支援」、「介護予防」です）

## そこで...

急性期、回復期から維持期への知識を持ち得ている  
我々「理学療法士」が、これらの要素に対して  
総合的に取り組んでいこう！と、取り組むものです。

## 『推進リーダー』って何? 何をを目指すの?

### 【地域包括ケア推進リーダー】

<目指すリーダー像>

- ・当面は、地域ケア会議の目的を踏まえた上で、会議に参加し、自立支援に繋げる助言ができる。
- ・最終的には、理学療法士の強みを生かして総合的に地域包括ケアを推進できる。

### 【介護予防推進リーダー】

<目指すリーダー像>

- ・理学療法士としての専門性を活かした評価ができる。
- ・効果的な予防プログラムを企画・提案ができる。
- ・多職種や住民との協働による予防プログラムを企画・提案ができる。

そこで...  
皆様のスキルアップと情報整理を行う場所を提供するため、以下のように「導入研修会」を(公社)岐阜県理学療法士会が開催します!

### 大垣会場 (大垣市情報工房)

- 地域包括推進リーダー導入研修 : 平成26年9月23日 (火・祝)  
介護予防推進リーダー導入研修 : 平成26年10月5日 (日)

### 高山会場 (久美愛厚生病院)

- 地域包括推進リーダー導入研修 : 平成26年11月2日 (日)  
介護予防推進リーダー導入研修 : 平成26年11月3日 (月・祝)

研修会の開催案内等については、士会ホームページ上に随時掲載しますので、各自でご確認下さい。

